

「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい。そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ

「もう平塚で何百試合戦ったのだろう」

プロ生活 15 年目。
2000 年にジュビロ磐田から湘南に移籍し、12 年。
いつの日も決して楽ではなかった。
そして今季も 1 年で J1 復帰を果たすべく、
厳しい状況の中で戦い続ける。
チーム最年長となり重責を自分に課すベテランは、
サポーター、そしてホーム「平塚」への思いも人一倍強い。

No.8 MF 坂本 紘司

今シーズンの戦い

昇格を目指しているという意味では、自分自身もそうだし、応援している皆さんも 2009 年（昇格を決めた年）と比べてしまうでしょう。あのときも、決して楽な試合ではなかった。5 分 5 分だったり、むしろ自分では分が悪いと感じるような試合が多かったんです。けれど 1 点差で勝ち切ったり、ビハインドを追いついたり… そんな粘り強さがあった。今年のチームに足りないのはそこだと思います。勝っていても追いつかれる。先取点を取られて逃げ切られる。もう少しのところで勝ち切れず、いい結果がだせていないことが負の連鎖を生んでいます。

昇格するまで J2 の 10 年間、ずっと悔しい思いをしてきたけれど、一度昇格して J1 を経験しているということ、戦力的にも特に劣っているというわけでもない、内容のいいゲームも多いということを考えると、この順位（第 27 節終了現在 12 位）にいるふがいなさ、悔しさは今まで経験したことのない、最も厳しい一年かもしれません。

今年には大幅にメンバーが替わりました。J1 のクラブで戦っていた選手も多い。ただ個々のポテンシャルは高くても、新卒でプロ入りした選手も含め、J2 のスタイルや戦い方に慣れていない部分はあったと思います。昇格争いの戦い方っていうのは J2 特有のものがありますから。そこは、僕や幸平（臼井幸平選手）が、しっかり引っ張っていかねばならないところです。

年齢を重ねたことで、できるようになったこと

年齢を重ね、経験値を積み上げてきたことで、できるようになったこともあります。試合中もボールを追いかけられるだけでなく、まわりのこと、チームのことを考え、いろいろな部分を冷静に見られるようになりました。ゲーム中に何が起るかを予測して事前に対応したり、チームメイトの心理状態を読んで声かけをしたり。若いころは「自分が決めてやる」という意識が強くて、一か八かのチャレンジをしていましたが、今は少なくなりました。ベテランらしく落ち着いていると語られることも多

いけれど、僕自身はそれがすごく嬉しい。若い選手のプレーは失敗も多いけれど、そのなかでときにキラッと光るプレーがありますよね。「自分も若いころそうだったな」と思うし、今でももっとチャレンジしていかねばならないと思います。

フィジカル的には、落ちているという自覚は全然ないですよ。もともとスピードが売りではないし、試合中 90 分戦う体力は十分もっています。ただ、疲労の回復には少し時間がかかるようになったかもしれません。だからトレーニング前後の身体のケアには人一倍気を遣うようにしています。

無理しないようにとか疲れをためないようになどと（手を）抜くことはしないです。ダッシュの練習でも 1 本 1 本全力でやっています。今日は軽めにしておこう、なんて考えていたら選手としては下り坂のはじまり。そうになったらピッチに立つ資格はないし、実際にメンバーにも入れないでしょう。そういう危機感はずねに持っています。

ホームはなぜ戦いやすいか

もう 12 年目ですが、平塚競技場に入るといまだにワクワクするんです。そして毎回、今日は勝てる！って感じる。もちろん負けるときもありますけれど・・・(笑)



そこは見慣れた風景だから落ち着くんですね。競技場やピッチの広さはもちろん、芝、照明、風などの細かいことも肌感覚でわかっている。自分がボールを持っている位置やそのとき仲間がどのへんにいるか、ゴールまでの距離感。そういったものが周りの風景とともに感覚でわかるんです。そういうやりやすさがあります。

またサポーターも多いですから、自分たちのチャンス のときには『わあ〜』と一気にスタンドが沸きますよね。だから『あつ、今チャンスなんだ』って・・・(笑) もちろん自分でもチャンスはわかっていますけれど、そのスタンドの声援に背中を押されて『ここは勝負だ！絶対決めてやる』って、気持ちもより高まります。

終盤の戦い

みんなから期待されているように、チームに必要なのは“得点力”。追加点を決め切れていれば勝てる試合も多かった。僕の仕事は点を取る。それ以外のことは精いっぱいやっているけれど、今、一番チームを助ける仕事は“ゴール”です。ベテランならではの勝負強さを見せて、ゴールを取る、または誰かにゴールを取らせることを強く自分に課して、最後まであきらめずにやっていきます。

(インタビューは 9 月 5 日に実施)

Private Time

引退して、現在は東京で働いている原竜太とは今でも仲がいいですよ。竜太の娘も僕になつてくれているし、家族と一緒に食事に行ったりしています。彼はチームのことを気にして、聞いてきたりしますけれど、全般的にサッカーの話はあまりしないですね。

オフはたま〜に買い物かな。この前、何か月ぶりかで洋服を買いに電車で横浜へ。でも用がすんだら 1~2 時間くらいですぐ帰ってきました。そんな感じです (笑)

NEXT HOMEGAME

9 月 28 日 (水) 19:00 キックオフ

@平塚競技場

湘南ベルマーレ vs. カターレ富山

9 月 11 日第 27 節アウェイの富山戦では、前半に 2 点先行されながらも、後半、臼井、田原、高山選手のゴールで 3 点を奪い、今季初の逆転勝利。最後まであきらめない気迫で 6 試合ぶりの勝点 3 を掴み取り、遠く富山まで駆けつけ、90 分間声援を送り続けたサポーターと喜びを分かち合いました。

東日本大震災の影響で、次のホームゲームは第 5 節、再びカターレ富山との対戦となります。勢いにのって今度は平塚競技場で 1 万人のサポーターと勝利のダンスを踊りましょう。

●ホームゲーム試合日程 ※会場はすべて平塚競技場

節	開催日	キックオフ	対戦相手
5	9 月 28 日 (水)	19:00	カターレ富山
30	10 月 1 日 (土)	16:00	ガイナレ鳥取
32	10 月 22 日 (土)	14:00	FC 岐阜
7	10 月 26 日 (水)	19:00	京都サンガ F.C.

◆市民・町民デーチケット

「市民・町民デー」に該当する市・町に在住・在勤・在学の方は、通常価格より半額の「市民・町民デーチケット」をご購入いただけます。詳しくは公式 HP で。10/1 小田原市民デー 10/22 平塚市民デー

F リーグ Infomation

第 7 節終了現在、7 位の湘南ベルマーレですが、依然として混戦模様が続いている F リーグ、連勝によって一気に浮上するチャンスもあります。手に汗握る攻防、迫力のゲームをぜひ小田原アリーナで体感してください。

●ホームゲーム試合日程

節	開催日	キックオフ	対戦相手
11	10 月 16 日 (日)	14:00	エスポラーダ北海道
13 ※	10 月 29 日 (土)	14:00	バサジィ大分
14	11 月 5 日 (土)	17:00	ペスカドーラ町田
16	11 月 20 日 (日)	14:00	シュライカー大阪

◆会場は小田原アリーナ。※は藤沢市秋葉台体育館